

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：財産管理費

事業名【新】岐阜県公共施設予約管理システム導入・運用費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 管財課 財産企画係 電話番号：058-272-1111(内2420)

E-mail：c11116@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 61,774 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	61,774	0	0	0	0	0	0	0	61,774
決定額	42,389	21,124	0	0	0	0	0	0	21,265

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

現行の県有施設予約管理システムは、令和元年度から稼働しており、令和6年12月で契約期間が満了する。4年を経過する過程で、オンライン決済の導入や、DXの観点から市町村との共同運用等の改善要望があった。そこで上記の課題を踏まえた新システムを構築する必要がある。

(2) 事業内容

今回更新するシステムは、県民がインターネットを介して、各施設の検索、空き状況の確認、利用予約等を行うことができ、また施設管理者が施設運営上必要な予約の情報を管理するシステムとなる。

デジタル化・DXを切り口とした各分野のプロジェクトの取組みの1つとして、「施設予約ワンストップ化に向け市町村との協議の場の設定（連携方法や技術面の検討）」を掲げている。次期施設予約システムの開発にあたっては、ぎふDX支援センターの支援を受け、市町村との共同調達を行い、県内公共施設の情報収集や予約のワンストップ化を図る。

クラウドサービスを利用し、インターネットを通じて、県及び共同調達を行う市町村の文化・スポーツ施設などの公共施設を横断的に予約・空き状況確認などができるようにする。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（県有施設の利用に係るシステムのため）

（調達は共同で行うが、契約は業者と各団体との個別契約で行うため、各市町の負担分は各市町が負担する。）

(4) 類似事業の有無
石川県、福井県ほか

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル委員報償費
旅費	11	プロポーザル委員費用弁償
需用費	49	コピー費等
役務費	531	決済代行会社への費用（導入費：110、運用費：373）、通信費48
委託料	61,151	システム導入費：57,851 システム運用費（R7.1～R7.3）：3,300
合計	61,774	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

デジタル化・DXを切り口とした各分野のプロジェクト「施設予約ワンストップ化に向け市町村との協議の場の設定（連携方法や技術面の検討）」

(2) 国・他県の状況

他都道府県においても同様のシステムを導入している。

(3) 後年度の財政負担

システム運用費（決済代行会社への費用含む）（R7.4.1～R11.12.31） 69,787千円
R7～10年度 14,692千円/年
R11年度 11,019千円/年 【債務負担行為設定R7～R11 70,000千円】

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村との共同調達のとりまとめを県で行っているが、県有施設も含まれる予約システムであり、県の負担分は県有施設に係る部分のみであるため、事業主体は県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

希望する県内市町村との共同調達による公共施設予約管理システムの導入により、利用者の利便性向上と施設管理者の業務負担の軽減を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県有施設予約管理システムの導入費用及び運用に係る維持管理経費であり、その性質上、指標を設定することは困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>文化・スポーツといった県有施設の空き状況の確認などスマートフォン等のインターネットを通じて手続きが可能な施設予約システムは、多数の自治体がクラウドサービスを導入しており、現在の主流となっている。また、デジタル化・DXを切り口とした各分野のプロジェクトの取組みにおいて、「施設予約ワンストップ化に向け市町村との協議の場の設定（連携方法や技術面の検討）」が掲げられており、市町村との共同調達によってプロジェクトを達成する。</p>
3	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 システム導入後の利用者及び施設管理者の操作性などの意見を踏まえ、システムの運用方法の検証などを行い、利用者や施設管理者へ安定したサービスを提供する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設予約にシステムが活用できるように運用していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
	令和6年度当初予算にて追加
令和4年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--